

CloseUp

『笑学ワークショップ』に協賛くださいました

子供達のコミュニケーション能力を上げる為の『笑学ワークショップ』に協賛くださいました前田葉子さん、株式会社JOSHO代表取締役の井上大治さんにこの度、協議会から感謝の意を表して記念の楯を贈りました。日頃から事業運営にご協力くださる皆様に、心から御礼申し上げます。



株式会社JOSHO 代表取締役 井上大治さん

前田葉子さん

Information

災害復興支援特別基金 熊本地震ボランティア活動資金のご報告

協議会会員の皆さまに、総会時「災害復興支援特別基金」、並びに「熊本地震ボランティア活動資金」への募金を募りましたところ、合計52,296円が集まり、公益財団法人 日本財団 に寄付をさせていただくことができました。また、寄付に際して去る6月22日に日本財団から領収書が届きましたので、ご報告をさせていただきます。

皆様からのご協力、ご好意に感謝いたしますとともに、被災地の復興を心からお祈りいたします。



NPO法人関西演芸推進協議会 会報誌

笑ライブ 第23号

2016年11月

walive

「笑ライブ」とは… 「笑」、「商」、SHOW(見せる)=LIVEという意味と、「WA」の意味する平和の「和」、みんなで手を繋ぐ「輪」の思いから名称にしました。

【発行】 NPO法人関西演芸推進協議会 編集部 <事務局> 大阪市浪速区難波中1-10-4 千房株式会社内 TEL.06-6633-1430 FAX.06-6633-1435 http://www.walive.org info@walive.org

INFOMATION

会員の皆様には、いつも当協議会へのご理解、ご協力をいただきありがとうございます。ちょうど今号の発行は、道頓堀リバーフェスティバル「第5回関西演芸しゃべくり話芸大賞」の開催の後ということもあり、結果発表とご報告させていただいております。エントリー数も前回より増え、第5回となることで、「賞レース」としての注目度も向上してきているように思います。当協議会の関わりから、新しい「演芸」、次世代に繋がる「芸能文化」が育てられたらという気持ちから、上方演芸文化の伝承のための活動をサポートしてまいります。

今後も、協議会の推進のために皆様との交流の場も創造したく、随時ご案内させていただきますので、どうぞご参加いただきたく、お願いいたします。

CONTENTS

- ☆2016年度 通常総会 .....1頁
☆大阪ミナミ夏祭り2016&にぎわいスクエア ☆夏季例会
☆第5回「関西演芸しゃべくり話芸大賞」予選
☆こちらスタッフ会議室!! .....2頁
☆第5回「関西演芸しゃべくり話芸大賞」優勝決定戦
☆女性会から参加されての感想が届きました! .....3頁
☆児童と共に学ぶ「笑学ワークショップ」に協賛いただきました
☆災害復興支援特別基金 熊本地震ボランティア活動資金のご報告
☆「笑学」のご案内 他 .....4頁

笑学

漫才のワークショップでボケとツッコミ体感!

いじめや学級崩壊など教育現場では様々な問題がありますが、その原因の一つに子どもたちのコミュニケーション能力の不足があると私たちは考えています。伝えたいことをきちんと伝えることができるなどコミュニケーションがしっかり取れれば、いじめにつながりそうな出来事も未然に解決されるのではないのでしょうか。そこで、まさにデジタル世代の小学生に対して、関西の演芸文化の真骨頂である漫才からボケとツッコミを体感してもらい、相手の話を聞き、話の展開を読む力や互いの信頼関係を構築していくアナログのコミュニケーション力「笑学」を体験できるワークショップを企画しています。この企画は、私たち関西演芸推進協議会のプロデュースにより、無償にてワークショップを実施しております。

主催:特定非営利活動法人関西演芸推進協議会
協力:相互タクシー(株)、(株)小学館集英社プロダクション、千房(株)
特別協力:(株)JOSHO、前田葉子様
対象:大阪府下の小学校 (募集中※応募校多数の場合は抽選にて決定)

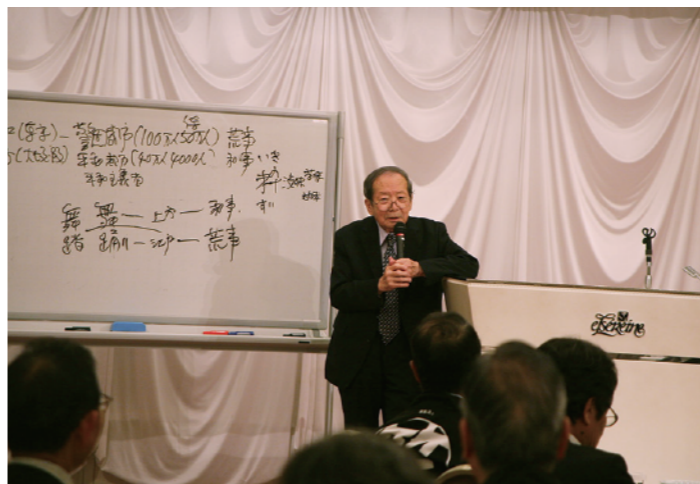
Report

2016年度 通常総会

2016年6月20日(月) 於)ホテルエルセラーン大阪



第1部総会。役員をご紹介します様子



貴重なお話も木津川先生の語り口調により、会場の空気は柔らかに一つに包まれるようです

上方の芸能文化の継承こそが、大阪発展の要!

6月20日(月)ホテルエルセラーンに於いて、通常総会が行われ、2015年度の事業報告と収支報告、並びに2016年度の事業計画が報告されました。

今年度も、関西演芸しゃべくり話芸大賞の開催や、笑学ワークショップの実施などを中心に、上方演芸の継承をサポートし、関西の演芸文化を盛り上げる活動という趣旨においての様々な活動と交流の場を創出していくための事業運営をお約束し、皆様の承認をいただき、滞りなく総会を進行させていただきました。

第2部では、専門誌「上方芸能」を47年に亘り編集・発行に尽力された木津川計先生によるご講演。テーマは「江戸と上方の芸能はどう違うのか」。東京弁、大阪弁がなぜ違うのか、江戸の武士の数から始まる文化・芸能の違い…。少し紹介しますと、「大阪の良さ」について。↓

- 大阪の良さ
①都市的文化(宝塚文化)
②河内型文化(大衆芸能)
③千里型文化(学術)
④船場の文化(上方歌舞伎など)

特に、④「船場文化」が衰えていくと都市格が下がってくる。従って、「大阪の伝統文化」を大切にしていかなければならない!!



懇親会開催のご挨拶をする小野幸親会長



希咲まりさんによる連載です!

まりわ



CloseUp

女性会便り

女性会「七夕例会

～和のココロ殺陣道を知ろう～
女性会会長 開高みどり
7月7日、女性会では七夕例会を開催しました。協力頂いたのは「日本殺陣道協会」協議会理事の八木哲夫さんが会長です。当日は殺陣の作法、刀の振り方の形など教わり後から私を含め3人が前に出て、着物を着て実践しました。チャレンジしてみました。斬られ役がベテランでもあり恥ずかしさで最初は緊張もし、刀を振ってからのセリフもなかなか間が難しく、みんなも大笑い。とても楽しい勉強会になりました。後は懇親会で色々盛り上がりました。是非、みなさんも女性会に気軽にご参加ください。

協議会10年を振り返って

会員 満田和美
発足して今年で10年。伝統芸能(能楽・歌舞伎・文楽)に携わる一人として、今日の協議会の発展ぶりに心から拍手を送ります。特に「より良き鑑賞者を育てる」という会の趣旨を根付かせてきたのは、ひとえに会長、専務理事を始めとする役員、事務局スタッフの皆さまのご奮闘のたまものであると思います。ゼロからの発足。多くの人たちをその渦に巻き込み、他団体とコラボして発信し続けられる力。参加するたびに感嘆するばかりです。一昨年は「女性会」の誕生。さらなる発展ぶりに協議会を支えるひと味違った力を発揮して下さり、今後ますますの発展を期待しております。

関西の上質な演芸文化のために...

上方演芸の文化に触れ、共に育む活動と一緒にしませんか... 関西演芸推進協議会では、関西の演芸を盛り上げ、若手芸人の活躍を支援し、演芸の伝統を守り次世代へと継承していくために様々な活動をしていきたいと思っています。

公式ウェブサイト http://www.walive.org 笑らいぶ

編集後記 少し大人になったのか(笑)この頃は昔を懐かしく思うことが多くなりました。音楽だったり、映画だったり、テレビにラジオなど...。4,5年前の話、カバーアルバムを聞いている頃に「ダイヤル〜回して〜手を止めたあ〜」のフレーズに、「ダイヤル回すって、何?」と。そう、20歳くらいの世代が生まれた頃は既にプッシュホンが普通だったんですね〜。漫才でも、最近の端末やSNS用語がネタだったとして、時代も今は時に会話も止めてしまふ怖さもあるように思うのです。(編集長・廣田)



総会の司会・進行を務められた満田和美さん

また、小林旭の歌「昔の名前で出ています」を取り上げての解説では、地域と名前の絶妙な違いについて...歌詞の主人公となるホステスが横浜では「ひろみ」でしたが、京都では「忍」、神戸では「渚」と呼ばれたの〜何故、大阪はなかったのか?それは、大阪が「濁音」イメージであり、歌詞の表現を壊しかねなかったからとのこと...。面白すぎて笑っぱなしでした!楽しいお話をありがとうございました。
第3部の懇親会でも、木津川先生の楽しく、勉強になるお話で和やかな雰囲気にも包まれた会場で、皆様が楽しくご歓談されている様子を伺うことができました。ご出席いただきました皆様、ありがとうございました。



Report 大阪ミナミ夏祭り2016&にぎわいスクエア

2016年7月16日(土) 於)とんぼりウォーク

道頓堀川の北側に台船ステージを設置し、様々なステージイベントが開催され、当協議会からも参加しました。



主催する大阪活性化事業2016実行委員会が道頓堀川遊歩道(通称:とんぼりパーク)にちようちんや川床をイメージした栈敷の設置、鳥取県境港市・北栄町・大山町、三重県伊賀市・一般社団法人伊賀上野観光協会PRブースの出店などでにぎわいました。

Report 夏季例会

2016年7月24日(日) 於)八軒屋浜~OBP

今年の夏の例会は、船上パーティーを開催!天神祭宵宮の夏の夜をジャズコンサートを鑑賞しながらの楽しいひと時を会員の皆様と過ごしました!!



Report

第5回「関西演芸しゃべくり話芸大賞」予選

2016年9月17日(土)・18日(日) 於)道頓堀ZAZA Pocket's

今回のエントリーは166組。予選会場は前年同様、道頓堀ZAZA POCKET'Sで9月17日(土)、18日(日)に行われました。エントリー数も前回よりさらに増え、審査の方もかなり混戦しましたが、10名の決勝進出者が決定しました。

両日共にたくさんのお客様がご来場され、決勝進出を狙う166組の芸を観ようと、客席も大変賑わっていました。

決勝戦の様子と結果は次項でご案内していますので、どうぞご覧ください。



Pick Up

こちらスタッフ会議室!! 「ところで、みんなどんなこと思ってるのん?」

2016年9月26日(月) 於)難波・某会議室

スタッフ会議の後で聞いてみました! 「発足から10年…。参加してどうですか?」

9月某日、第5回関西演芸しゃべくり話芸大賞の予選の熱気も冷めやまぬ頃、本戦に向けての話し合いを中心に会議が行われました。このスタッフ会議では、協議会の運営を始め、様々なイベントの企画や運営、会員の皆さまへのご案内についてなど、1回ごとに様々な案件が上がり、話し合いを行っています。今号では、会議に参加されていて、日頃スタッフの皆さんがどんな感想を持っておられるのか、ひと言つぶやいていただきました。

私たち劇団往来は日頃から公演やイベントなど行っているのですが、他業種の方が試行錯誤されながら話芸大賞という大きなイベントを運営されているのは大変なことだと思います。それが5回も続いているから凄いと思います。 小鉢誠治



異業種の方とのスタッフ会議、「笑い」をテーマに「カンカン、ガクガク、楽しくもあり、学びもあり。」 黒田芳樹

『面白い決勝戦をしっかりサポートして良き鑑賞者を増やしていきたい』 土師英嗣

果てしなく広がる話題にツッコミ、ボケ、笑い、忙しく、時間があつという間です。 壬生富美

会議の時間は、まるで頭の体操タイム。半年先までのテーマが、くねくねと今夜も同時進行中。 森本貴美恵

スタッフでなかったら、出会うことがなかった情報や人との交流。新しい世界観が広がる時間です。 廣田陽子

今年で10年。スタッフ間にも家族のような絆が…。 石井サト子

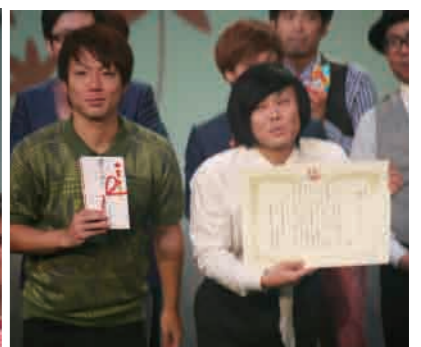
Report

第5回「関西演芸しゃべくり話芸大賞」優勝決定戦

2016年10月22日(土) 於)YES THEATER



グランプリ受賞のプリマ旦那



準グランプリ受賞のマグリット



特別ゲスト審査員の宮川花子師匠

5回目の賞レースに10組が熱演!

第5回となる「関西演芸しゃべくり話芸大賞」優勝決定戦は「道頓堀リバーフェスティバル」の1イベントとして、YES THEATERで開催されました。各組とも予選よりさらに表現力もブラッシュアップされ、各組ともこの賞レースへの意気込みも感じ、開催者並びに観客の皆様にもその熱気が届いたことと思います。

結果はグランプリは「プリマ旦那」、準グランプリには「マグリット」が選ばれました。今回、特別ゲスト審査員として参加いただいた宮川花子師匠からも出演者に温かく、ベテラン芸人としての立ち位置からの個性あふれる講評をいただき、会場をさらに盛り上げていただきました。審査委員長の澤田先生からも今までにない高い評価を頂戴することができ、出演した芸人さんも、運営に関わったスタッフも嬉しい結果となりました。

審査結果を待つ間は、舞台はガラリと雰囲気を変え、SO.ON projectの歌とダンスのショーをお客様にお楽しみいただきました。若くフレッシュな女性グループのショーも、決戦の緊張から解き放たれる、和やかな一幕となり、華やぎを添えてくれたのではないかと思います。

秋のイベントで賑わうミナミの街での熱い戦い。今年も新しい「しゃべくり話芸」の実りを見つけることができました。第6回はどんな熱戦が繰り広げられるのでしょうか…皆様と一緒に、来年も賞レースを楽しみにしたいと思います。



SO.ON project

「話芸とは、会話のおもしろさを磨き、芸にしたもの」～決勝出演者10組～



アイトリ

わんぱくウォリアーズ

雷ジャクソン

エジソン

相乗効果

ブランケット

プリマ旦那

アンビシャス

マグリット

センサールマン